

議事（２） 岡山県動物愛護推進員の活動について

岡山県では、「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づき、現在 62 名の方に動物愛護推進員を委嘱しており、地域における動物の適正飼養に関する指導・助言のほか、自治体等が行う動物愛護週間行事や動物しつけ方教室等で協力をお願いしています。

1 動物愛護推進員の活動内容

	活 動 内 容
市町村職員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民からの苦情、相談に対して適正飼養の説明 ・ 市町村の広報誌掲載、放送等による啓発 ・ 啓発資材を作成し、集合注射時や窓口で配布 ・ 未登録犬の所有者宅訪問 ・ 幼稚園、保育園でのふれあい教室実施 等
獣医師	<ul style="list-style-type: none"> ・ 狂犬病予防、混合ワクチン、フィラリア症予防、ノミ・ダニの予防に関する啓発 ・ 動物由来感染症に関する注意事項の説明 ・ 食事、しつけの指導 ・ 野良猫の繁殖制限措置（避妊手術） ・ ペットフェスティバルの開催 ・ 行政機関等が実施する事業への協力 等
動物愛護団体会員	<ul style="list-style-type: none"> ・ センター譲渡会の紹介、フェスティバルへの協力 ・ 動物愛護に関する研修会等への参加 ・ 野良猫の不妊措置及び近隣住民への説明 ・ ブログ、SNSを使用した啓発活動 ・ 団体の活動で犬猫を保護し、新たな飼い主を募集し個人へ譲渡 ・ 団体で独自に譲渡会や勉強会を開催し、参加者にアドバイス、説明 等

2 令和2年度活動報告

(1) 委嘱人数（令和3年3月31日現在）62名

[内訳 市町村職員 29名 獣医師 11名 動物愛護団体会員 22名]

(2) 令和2年4月1日～令和3年3月31日までの活動実績

【動物愛護センター事業への協力状況】

・動物愛護推進員研修会（8/30）	15名
・動物愛護週間街頭キャンペーン（9/18）	8名
・第16回岡山県動物愛護フェスティバル（10/25）	14名
・犬のしつけ方フォローアップ教室（3/6）	8名
・動物ふれあい教室、しつけ方教室、他協力	延べ人数5名

【独自活動の内容】

・動物の愛護及び適正飼養等の普及啓発	949件 (報告者38名)
・繁殖制限措置に関する助言	572件 (報告者21名)
・譲渡のあっせん	273件 (報告者10名)

3 令和3年度活動予定

(1) 委嘱内定人数（令和3年6月30日現在）64名

[内訳 市町村職員 29名 獣医師 11名 動物愛護団体会員 24名]

(2) 動物愛護推進員研修会（8月19(木)）

(3) 動物愛護週間街頭キャンペーン（9月17日(金)）

(4) 第17回動物愛護フェスティバル（10月24日(日)）

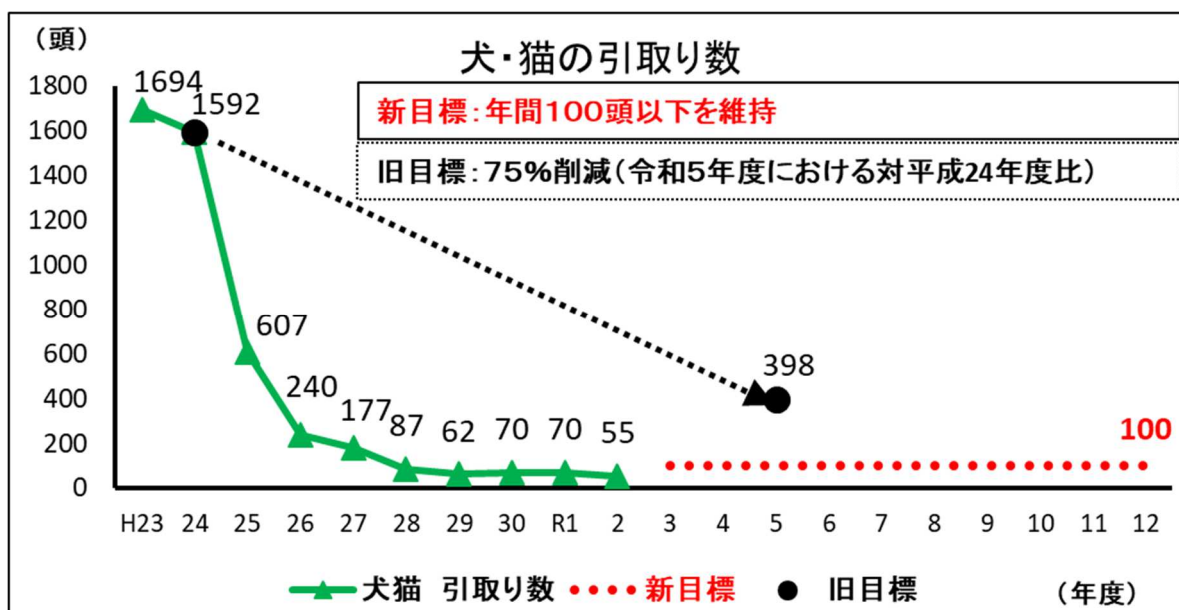
(5) 犬のしつけ方フォローアップ教室・譲渡犬交流会（3月中旬予定）

(6) 動物ふれあい教室、しつけ方教室、その他独自の活動

議事（3） 岡山県動物愛護管理推進計画について

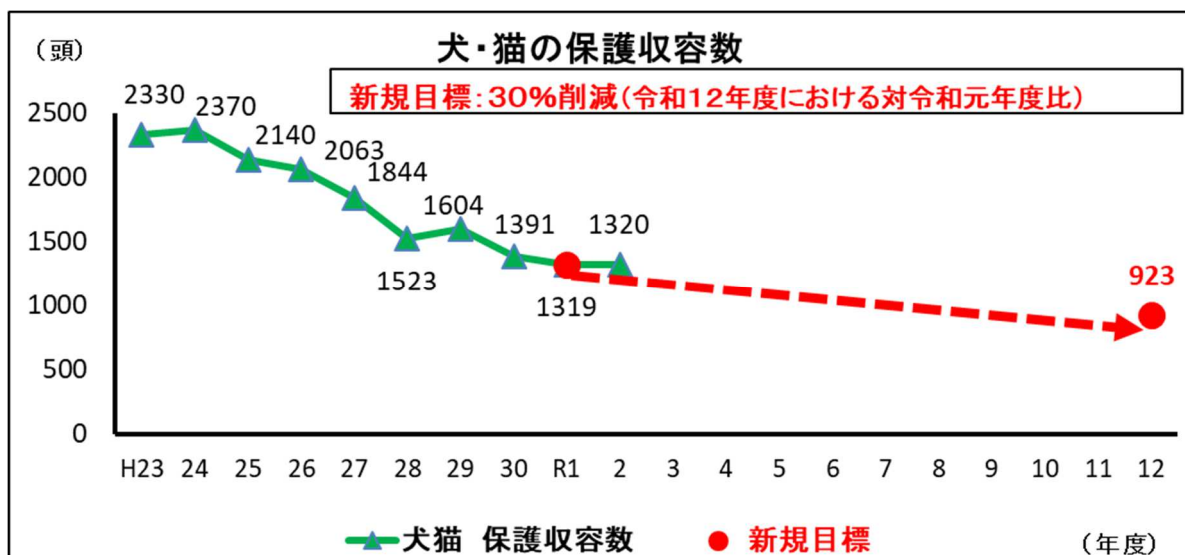
1 犬・猫の引取り数

旧目標は平成26年度に達成し、その後、令和2年度までの5年間は100頭以下を維持しました。令和3年度からの新たな計画では、これ以上の引取り数の削減は困難として、目標を「年間100頭以下を維持」としています。終生飼養及び繁殖制限措置の推進等の取組を継続し、目標達成を目指します。



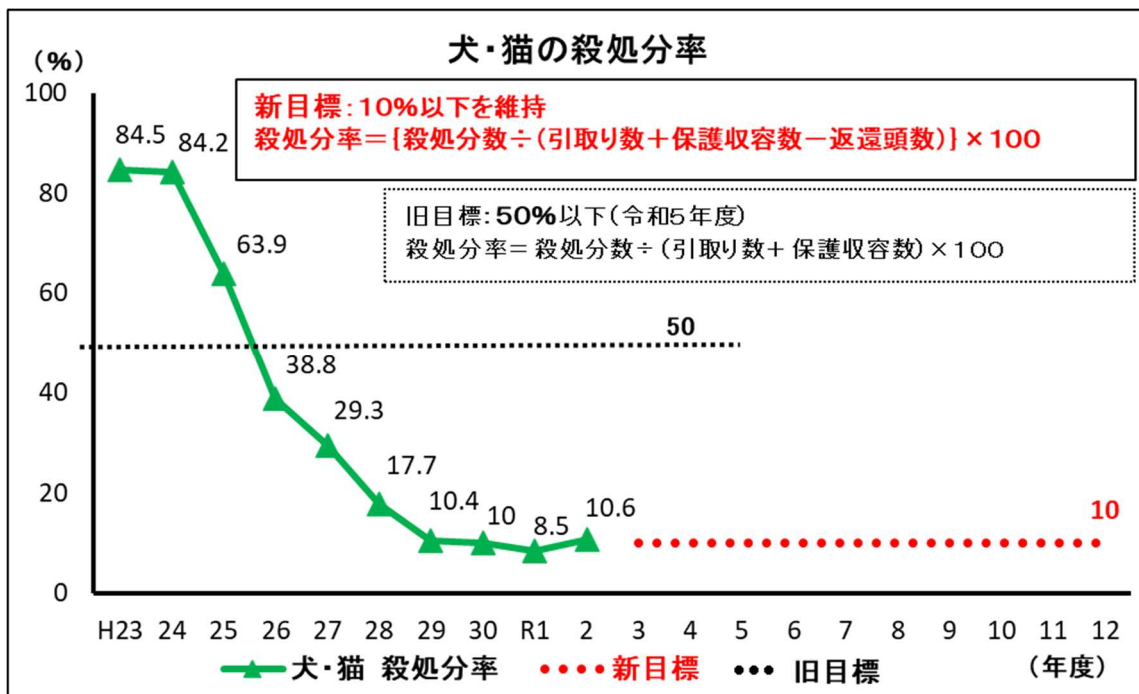
2 犬・猫の保護収容数

今回、新たに設けられた目標では、令和12年度における保護収容数を令和元年度比で30%削減としています。所有明示措置の推進、飼い主のいない猫対策等の取組を実施して、保護収容数の減少に努めます。



3 犬・猫の殺処分率

旧目標は平成26年度に達成し、その後は、令和2年度に若干増加しましたが、近年は10%程度を維持しています。新たな計画では、目標を、毎年度10%以下とし、返還頭数の増加に努め、譲渡を積極的に進めること等に取り組みます。なお、新目標では、実態に合わせるため、返還頭数を除いた頭数を分母として殺処分率を計算しています。



4 犬のしつけ方教室の延参加者数

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響があったにもかかわらず、900人近くの参加があり、順調に参加者が増加しています。新たな計画でも、令和3年度から12年度にかけての累計で7000人を目標としています。これまで同様の参加者が得られるように、動物愛護センター内や地域等へ出張しての教室の開催等に努めます。

